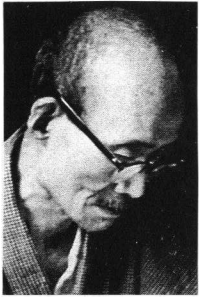


上甲平谷 へいこうく 俳人。明治二十五年四月十日愛媛縣生れ、昭和六十二年八月二十九日歿（二八九一―一九六六）。本名保一郎。別號世北老人、九庵。早稲田大學文學部哲學科卒。初の村上露月、のち河東碧梧桐、次で松根東洋城の門に入る。俳誌『葎柿』、『あら野』を経く、昭和十二年『俳誌藝術』を創刊（のち『火燭』と改題）。句集三冊。著書『芭蕉俳諧』（昭和二十四年四月十日富山房）、『紀行文集』、『無明一杖』（昭和六十二年七月五日谷沢書房）、『俳諧襍稿』、『遊戯二昧』（平成四年四月十日谷沢書房）等。



俳諧襍稿

遊戯二昧

上甲平谷

俳諧襍稿

遊戯二昧

上甲平谷

私は俳諧の道を生んで四十年になる。同じ道でも私の道ではなく風雅の道である。ひたぶるに根柢確立・吹求浄土の念仏三昧を行ずるのではなく、他にふかむ月迷ふころの無常道戯を弄んだにすぎない。しかも世間のきつな潮ちかたぐ未だに市井の陋居に踞踏して、夢中の大地に安んじて居るにすぎない。（文中略）

谷沢書房 定価2000円（本体2241円） 0092-412602-4498